様式第１別紙１

国内資源循環体制構築に向けた再エネ関連製品及びベース素材の全体最適化実証事業

実施計画書

|  |  |
| --- | --- |
| 申請テーマ（右記該当に○を付ける） | 1. 再エネ関連製品（太陽光パネル、リチウムイオン蓄電池、風力発電ブレード）・ベース素材等における未利用資源の国内活用体制構築の実証
2. 白金族等のレアメタル等を対象とした脱炭素型回収スキームの構築及びリサイクル技術・システムの実証
3. 再エネ関連製品（太陽光パネル、リチウムイオン蓄電池、風力発電ブレード）・ベース素材等の製品仕様情報と連携し、デジタルを用いたトレーサビリティを確保したリサイクル技術・システム構築の実証
4. その他脱炭素型金属等リサイクル技術・システムの実証
 |
| 事業実施の団体名 |  |
| 事業実施の代表者及び担当者 | 事業実施の代表者 |
| 氏名 | 事業者名・役職名 | 所 在 地 |
|  |  |  |
| 電話番号 | E-mailアドレス |
|  |  |
| 事業実施の担当者（事業の窓口となる方） |
| 氏名 | 事業者名・役職名 | 所 在 地 |
|  |  |  |
| 電話番号 | E-mailアドレス |
|  |  |
| 事業の主たる実施場所 | ＊実際に補助事業を行う場所の住所を記入する。（図面を添付する） |
| 共同事業者 | 団体等の名称 | 事業実施責任者 |
| 氏名 | 役職名 | 電話番号 | E-mailｱﾄﾞﾚｽ |
|  |  |  |  |  |
|  |
|  |  |  |  |  |
|  |
|  |  |  |  |  |
|  |

*※ 赤字斜フォントは記載要領のため、提出時は削除する。*

＜事業の概要＞

|  |
| --- |
| 事業の概要 |
| *実証事業の内容（目的・背景、解決すべき技術的課題、実証事業の内容、実証方法、実証事業の成果イメージ（目標）、事業実施の効果概要、事前実証検証の状況等）を具体的に記載して下さい。* |

＜事業の詳細＞

|  |
| --- |
| 1. 社会的課題設定の妥当性
 |
| *社会的課題への効果の妥当性及び実現した場合の循環型社会への貢献の見込みを理由又は根拠とともに定量的に記載して下さい。* |
| ②　技術的課題設定の妥当性 |
| *新規性、課題設定の妥当性及び他社の技術と比較して優位性があることを具体的に記載して下さい。* |
| ③　事業における環境影響改善効果の評価方法 |
| *事前に実施した事業等を参考に、本事業における環境改善方法の評価方法をベースラインと比較する等、具体的に記載して下さい。* |
| ④　実現した場合のCO2排出量の削減効果の見込み |
| *事前に実施した事業等を参考に、事業化が実現した場合のCO2排出量の削減効果を理由又は根拠とともに定量的に記載して下さい。* |
| ⑤　脱炭素型金属リサイクルビジネスの活性化の見込み |
| *提案された事業の横展開可能性（他の事業者、他分野への展開可能性）及び金属等リサイクルビジネスの活性化の見込み及び事業採算性を理由又は根拠とともに定量的に記載してください。* |
| ⑥　事業終了後の出口戦略 |
| *事業の将来的な展開可能性を経済的・技術的側面から説明して下さい。また、実証事業終了後の事業展開に係る出口戦略を具体的（事業性、実現性、取組む意義の３つの観点）に記載して下さい。**また、事業終了後３年間の具体的な目標及び活用内容を記載して下さい。* |
| ⑦事業計画・スケジュール（Ａ４判１枚以内）（事業計画の具体性・実現可能性を把握するため、具体的に記載すること）※別紙でスケジュール表を添付しても構いません。※複数年度で実施する場合は、複数年度分を別紙に記載してください。 | ６月 |  |
| ７月 |  |
| ８月 |  |
| ９月 |  |
| 10月 |  |
| 11月 |  |
| 12月 |  |
| １月 |  |
| ２月 |  |
| ３月 |  |
| ⑧　事業の実施体制 |
|  |